

放課後等デイサービス自己評価 結果報告 (令和3年3月)

放課後等デイサービス野花

		チェック項目	はい	どちらとも 言えない	いいえ	改善目標 工夫している点等
環境 体制 整備	1	利用定員は指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			・4部屋を用途によって使い分けており、人数を分散し子どもに合わせた使い方が出来ている。
	2	職員の配置や専門性は適切か	83%	17%		・毎年それぞれが自分の適性に合わせて様々な資格を取得している。 ・全体的に職員の学ぶ姿勢が高く、研修への参加により学び(専門性)を高められるよう努力している。 ・フロアごとに必ず常勤職員を配置している。研修参加や資格取得等、個々で皆が頑張っていると感じるので職員の専門性は適切だと思う。
	3	事業所の設備等は子どもの障害への配慮が適切にされているか	67%	33%		・子どもの年齢構成や発達課題が毎年変わっていくので、それに合わせて視覚支援カードをより充実させていく予定。 ・今後、視覚支援の充実を図る。 ・他事業所に比べると、視覚支援が乏しい傾向にあるので、より充実した視覚支援を行えると良い。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			・職員間で話し合う機会を多く設け、PDCAサイクルを意識し、常に改善に努めている。 ・職員会議にて役割分担し、進捗状況の周知、改善を図っている。 ・問題行動がある子どもに対しモニタリングをしPDCAサイクルを行っている。

業務改善	5	保護者向け評価表等アンケート調査を実施して保護者の意向を把握し、業務改善につながっているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を受けて、より保護者の方々に理解して頂けるよう機会を捉えて情報提供をしていきたい。 ・アンケート結果を職員で共有し、不十分な所は改善できるように努めた。 ・アンケート結果を職員周知の上、意識を高めている。
	6	この自己評価の結果を、お便りやホームページ等で公開しているか	100%			
	7	第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか	67%	33%		<ul style="list-style-type: none"> ・外部のOTさん・STさんの巡回を始めていく事で、今後フィードバックを貰い改善に努めたい。 ・今後OTさん等との連携が加わり強化されると考える。
	8	職員の資質の向上を行う為研修の機会を確保しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・月1~2回は法人内研修を行っており、外部研修も公的なものを含め多数参加している。 ・法人内研修・外部研修ともに多くの研修を受けている。 ・定期的に法人内研修が設けられており、その他外部研修にも積極的に参加している。 ・法人内・外部研修たくさんの研修を設けている。非常勤さんが参加出来る研修も多い。 ・法人内研修・外部研修を月2回以上は行っている。 ・法人内研修も多く、外部研修も必要に応じて受講させて貰っている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか	100%			
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントツールを複数

適切な支援の提供

	る為に、標準化されたアセスメントツールを使用しているか				使い個々の子どもの姿を出来るだけ多面的に見られるように努めている。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・月の活動は職員全員で決定している。 ・週ごとの活動プログラムを2人1組になって立案し、全体周知の後に全員で取り組んでいる。 ・2人1組で週の活動プログラムを立案し、リーダーに内容の周知・点検をしてもらい、その後に全員へ周知をしている。改善点が出てくれば変更する。 ・2人1組で活動プログラムを作り、事前に全体で内容を共有し、改善している。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが楽しめるように変化を加えたり等、工夫や改善しながら活動プログラムを組んでいる。 ・遊びの反復もあるが、子どもに合わせた楽しめる活動になるようにひと手間入れる等工夫している。 ・目的は同じでも活動プログラムの内容を変える等、子どもが飽きずに楽しめる事を意識している。 ・活動プログラムが固定化しないよう決まった1人が活動の内容をチェックした後、活動を行っている。
13	平日、休日、長期休暇に応じ、課題を決め細やかな支援を行っているか	83%	17%		<ul style="list-style-type: none"> ・主活動は毎回子どもの課題に合わせてセッティングし行っているが、隙間時間をもっと有効活用していきたい。
14	子どもの状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・社会面の課題へアプローチする方法として集団活動を行う事は多いが、個別での性教育・発語音楽・高校受験対策

適切な支援の提供					<ul style="list-style-type: none"> ・SST等も併行して行っている。 ・集団活動が困難な子どもに対して、個別活動も用意し、職員も配置している。 ・子どもの障害特性に合わせ適宜作成されている。
	15	支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・活動の目的の周知を意識し、職員がより意味のある支援が出来るよう心がける。 ・活動の立案者がその活動を何故行いたいのか（目的）を周知し、全員が共通の目的・ねらいを知った上で支援に臨みたい。 ・活動を行う一週間前に全員で活動プログラムのチェックを行っているとともに、当日の朝も活動プログラムのチェックを行っている。 ・活動の立案時から打ち合わせを行い、話し合いが行えている。
	16	支援終了後には、職員間で支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・良かった点や改善点等、細かい子どもの姿まで共有し、支援の課題に繋がられるように意識している。 ・特に気になる点は赤字で記入し、後日行なわれる職員会議の時間に、より深め改善出来るよう努めている。 ・支援終了後に振り返りを行い、全員での情報共有を行っている。問題があれば職員会議で議題にあげている。 ・毎日支援終了後に振り返りを行い情報共有をしている。
	17	日々の支援に関し正しく記録をとる事を徹底し、検証改善につなげているか	83%	17%	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットをもう少し上げていけたらいいのと思う。 ・子どもの細かい様子も記録にとり、後日見直せるように

適切な支援の提供					<p>ファイリングし改善に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの報告書作成の強化、活動の振り返り改善にも力を入れていきたい。 ・毎日の振り返りを記録し、職員会議で再確認・検証・改善に繋げている。
	18	定期的にモニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・半年に一度の保護者面談以外にも必要に応じてモニタリングを行ったり療育相談に応じている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	100%		
関係機関や保護者との連携	20	学校との情報共有（年間予定下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡等）を適切におこなっているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・学校連携を行う機会がコロナ禍で激変してしましたが、送迎時を利用して情報共有を図っている。 ・学校の先生と多くコミュニケーションをとり、細かい様子や気になった事等を共有し合うようにしている。 ・下校の引き渡し時にその日の様子を必ず確認し情報共有を行っている。
	21	相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した者が参画しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・児発管が参加している。
	22	就学前に利用していた保育園児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の児童発達支援を卒園した子どもの情報はとても多く上がってくるが、他法人からはなかなか難しい。 ・法人内の児童発達支援から卒園した子どもならば情報共有がしっかりなされている。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしてい	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の同意を受け、卒業後に移行する事業所へ情報提供している。（進学者は除く。）

関係機関や保護者との連携		るか			
	24	支援困難なケースでは専門機関と連携し助言や研修を受けているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議等を行い各関係機関が協力できる体制をとっている。
	25	利用者以外の子どもと関わる機会はあるか	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・公園での活動や法人主催の運動会等で行えるが、今年はコロナ禍でどうしても機会が少なかった。 ・定期的に地域の公園や公民館等で地域の子ども達と遊ぶ機会がある。
	26	自立支援協議会へ積極的に参加しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・児発管が毎回、子ども部会へ参加している。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っているか	83%	17%	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的には送迎時の連絡となるが、特に必要とを感じる場合は電話で状況の説明や家庭で協力してもらえるとより効果的な点等を伝える事もある。 ・送迎時等に子どもの様子から情報共有を行い、普段の活動に活かしている。 ・子どもの課題に対して事前に職員間で話し合い保護者への伝え方を相談した上で、お伝えしている。共通理解については伝わり切れているのか分からない。 ・送迎時、今日行った活動と目的を伝え、家庭での様子を聞く事もある。子どもの課題があれば、職員間で話し合い、活動プログラムに支援を取り入れている。
28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年希望者を募りCSP（コモンセンスペアレントトレーニング）の講座を開いている又子どものセカンドステップの講座に保護者の参加もお願いしている。 ・毎年、保護者向けのコモンセンスペアレントトレーニング 	

					グを行っている。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%		・ 利用開始の時にしているが、必要な場合には適宜行っている。
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		・ 随時相談に応じている。必要な場合には医療機関に繋ぐ事もしている。 ・ 保護者の声に耳を傾け必要であれば職員間で話し合ったりして保護者支援を行っている。 ・ 保護者へ即答出来ない場合は一旦事業所に持ち帰り、職員間で話し合った後、管理者が伝える。 ・ 自分では返答出来ない保護者からの質問もあるので、一旦持ち帰り、皆へ伝達・共有し、場合によっては上司から伝えてもらう。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%		・ 「親の会」の活動をバックアップし、学習会・事業所見学・茶話会等を開いている。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		・ フォーマット等を整えているが、実際に苦情が発生した事は無い。しかし細かい不手際が苦情とならないよう細心の注意を払っていききたい。
	33	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		・ 毎月お便りを発行し、活動内容や親の会のお知らせ等を発信している。
	34	個人情報に十分注意しているか	100%		
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	100%		
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業	100%		・ 法人主催の運動会はコロナ禍の為に行えなかったが、地

					<p>域交流カフェは6回程行えた。今後も地域に開かれた法人として活動を広げたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事以外でも地域交流カフェを月に1回開いている。
非常時の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で訓練や各マニュアルの読み合わせ等を定期的に行っている。 ・各マニュアルを定期的読み合わせ、意識を高める工夫が必要だと感じる。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・訓練を行い振り返りをし、毎回改善をしているので、より良い訓練が出来ていると思う。 ・職員のみ防災訓練、子どもも参加する防災訓練を行っている。火災・地震・不審者・津波を想定し、実施している。 ・年間を通じて地震・津波・火災等の訓練を実施している。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・職員もセルフチェックを行い、自身のメンタル面の振り返りも行っている。 ・自分が気付かない内に虐待にあたる行為を行ってしまうのを防ぐために、研修やマニュアルのチェックを定期的に行いたい。 ・マニュアルの読み合わせやセルフチェックリストでの確認を実施している。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	100%		
	41	食物アレルギーのある子ども	67%	33%	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、重篤な食物アレルギー

非常時の対応		について、医師の指示書に基づく対応がされているか				ギーの子どもは在籍していないので、アレルゲンの除去等にて対応している。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	50%	50%		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの報告や必要な気づきは得ているが、事例集の作成には至っていない。 ・今後、強化する必要あり。 ・事故を出さないためにヒヤリハットをたくさん出す。 (今まであまり出ていなかったの) ・ヒヤリハットの事例をファイリングし、いつでも見られるようにしている。ヒヤリハットの改善後も同じファイルに保管している。
	43	身体拘束を行った場合の必要な記録を取る為の様式が用意されているか	67%	33%		<ul style="list-style-type: none"> ・様式の用意はあるがどのレベルの行動抑制で記入するかがやや曖昧なので話し合っていきたい。 ・身体拘束について学ぶ機会やマニュアルはあるが、どのレベルの行動抑制で記録を残すか曖昧だったため、記録に至っていなかった事もあった。
	44	遊具・施設等の安全点検を定期的に行い必要な措置がされているか	67%	33%		<ul style="list-style-type: none"> ・大型遊具や小さいおもちゃ等を定期的にチェックし危険がないように気を付けている。 ・吊り具やボードゲーム等、定期的に破損していないかチェックし、必要に応じて修理する機会を設けている。 ・気になる点を見つけたら、すぐに修繕がなされている。安全点検を担当制にした方が、もっとしっかりチェックがなされると思う。